

1面の続き 引き続き、大雨への備えをお願いします



避難をするときは…

基本は、自宅などの建物の2階以上へ避難を



草加市内は、2階以上への浸水、土砂災害や川の水が押し寄せ、家屋が流される可能性は極めて低いと想定されています。

2階以上への避難は、住み慣れた空間で、プライバシーを保ちながら過ごすことができる他、移動時の危険を避けられます。
自宅に2階が無い人や、不安な人は、親戚・知人宅または開設された避難所へ避難を。



たくさんの雨が降ると…

家の思わぬ場所から浸水する可能性があります。



浸水というと、玄関口など外から水が入ることを想像しますが、建物周辺が浸水すると洗濯機、風呂場の排水口やトイレなどから水が逆流し噴きあがることがあります。

「水のう」などの重しをのせて逆流を防ぎましょう。

詳しくは市ホームページへ



在宅避難時に備えておきたいもの

食料・水 (家族数×最低3日分)

- 飲料水 (1人1日3ℓ)
- 備蓄食料

トイレ (家族数×1週間分以上)

- 簡易トイレ (1人1日約5回)

電源など

- ヘッドライト・ランタン
- ラジオ
- 予備電池・モバイルバッテリー

市の情報をスマホにお届け



ハザードマップもチェック

問 危機管理課 ☎922-0614 ☎922-6591

台風第2号による浸水被害を受け 支援プロジェクトによる寄附の募集を開始

市ではふるさと納税制度を活用し、支援プロジェクトによる寄附を募っています。

集まった寄附金は、災害復旧支援等に活用します。

■受付期間

12月31日(日)まで

■寄附方法

ふるさとチョイスの災害支援ページ (QRコード) から。草加市民も可。

問 財政課 ☎922-0761 ☎922-1547



水深が浅い段階の浸水・逆流防止に「水のう」



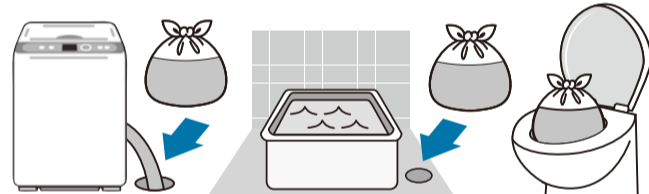
水のうは、準備や後片付けが簡単。ゴミ袋など家庭にあるもので手軽に作れるので覚えておくと便利です。

水のうの作り方

- ① ゴミ袋 (45L) を2枚用意する
- ② ゴミ袋を2重にし、半分まで水を入れる
- ③ ゴミ袋の空気を抜いて口を結ぶ

活用例

【1】逆流を防ぐため排水場所に置く



- 洗濯機や風呂場の排水口に置く
- トイレの便器に入れる

● 風呂場の浴槽に水を溜めておくと逆流を防ぎ、いざという時の生活用水にも使用できます。

【2】玄関前・車庫などに置いて水の侵入を防ぐ

水のうを箱にいれ、ブルーシートで包むとさらに強度が増します。止水板の固定にも使用できます。

ポリタンクなどでも代用できます。



問 建設管理課 ☎922-2069 ☎922-3152

後期高齢者医療保険料納付通知書 7月中旬に発送

問 後期高齢者・重心医療室 ☎922-1367 ☎922-3178

令和5年度の後期高齢者医療保険料の納付通知書を、7月中旬に発送します。通知書に記載された納付期限までに市指定金融機関等で納めて下さい。また、年金から引き落としされている特別徴収の人には、保険料額決定通知書を発送します。

なお、口座振替による納付に変更を希望する場合は、同室へ。

特定任期付職員(弁護士)を募集

問 職員課 ☎922-0983 ☎922-3098

✉ shokuinka@city.soka.saitama.jp

詳細は職員募集ページ (QRコード) で確認を。

■ 募集職種 特定任期付職員 (弁護士)

■ 採用日 令和6年4月1日

■ 試験科目 書類審査 (応募多数の場合)、面接。

問 8月15日(火)までに、市電子申請サービスで。



■ 5月の放射線量等 ○ 大気中放射線量 (単位: マイクロシーベルト/時) 最大値0.08/最小値0.06 (市役所前)